

## Translation of Reference 2

Jpn. Pat. Appln. KOKAI Publication No. 2001-266187

Date of Publication: September 28, 2001

(Please see the enclosed English Abstract for bibliographic data.)

---

### Part A: Column 1, Lines 10-11

[Technical Field of the Invention] The present invention relates to a gate device that reads an inserted ticket, and opens and closes a gate.

### Part B: Column 2, Line 32 to Column 3, Line 7

[0018] Next, operation will be described with reference to FIG. 4. FIG. 4 is a flowchart illustrating the operation of the gate device shown in FIG. 1. In step S1, a check-processing unit 17 is sensing whether or not a passenger 5 approaches the device through the use of a proximity sensor 15. When it is detected that the passenger 5 has approached the device, the operation goes to step S2.

[0019] In step S2, the check-processing unit 17 makes a voice notification to the passenger 5 to insert a passport 8 into a passport insertion unit 9, while displaying the same notification on a display unit 11.

[0020] In step S3, the check-processing unit 17 is sensing whether or not the passport 8 is inserted through the use of the sensor of the passport insertion unit 9. When it is detected that the passport 8 has been inserted, the operation goes to step S4.

[0021] In step S4, the check-processing unit 17 reads the code which is written in a predetermined area of the passport 8, through the use of an optical character reader 10.

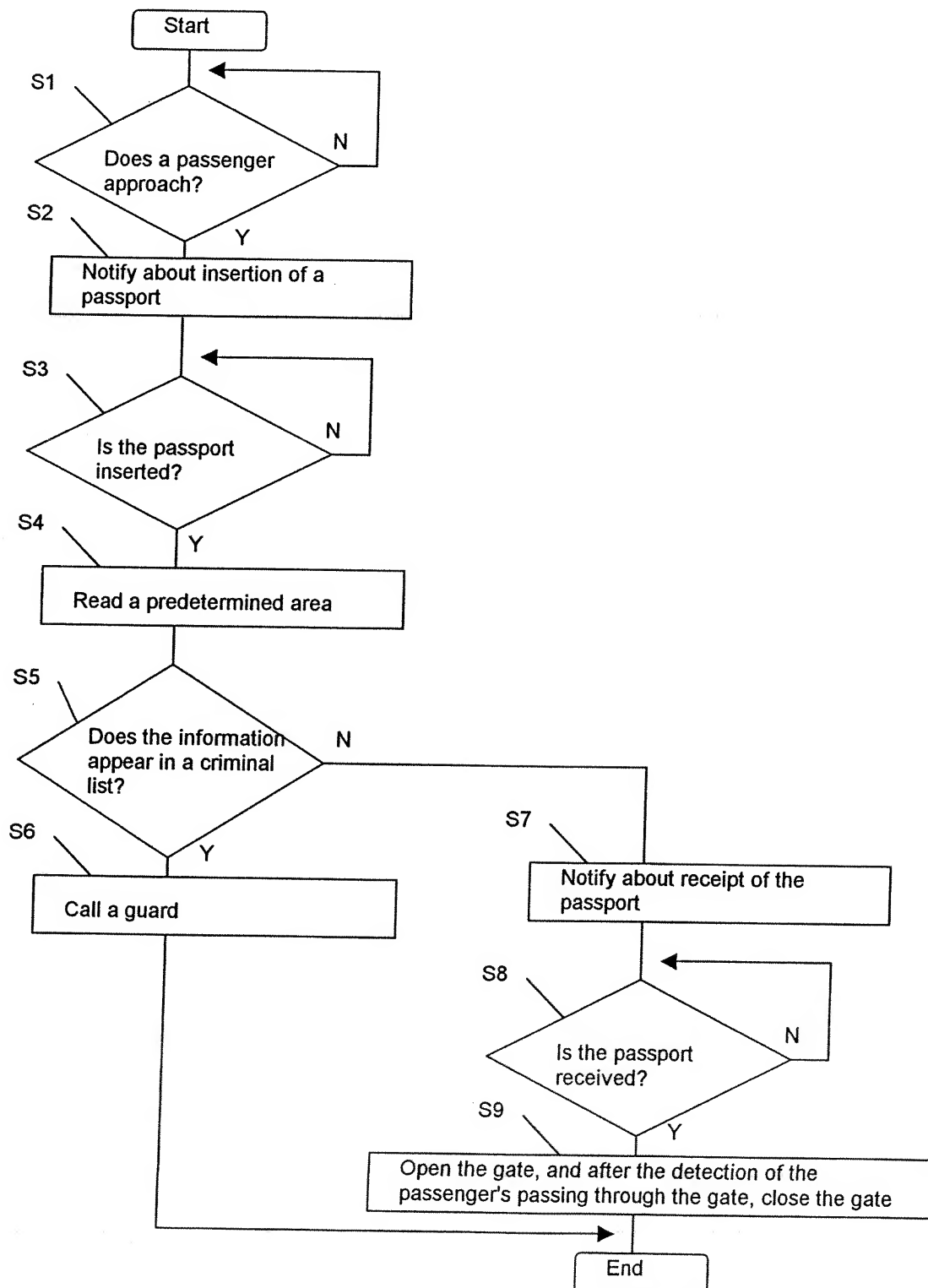
[0022] In step S5, the check-processing unit 17 verifies whether or not the

information read in step S4 appears in a criminal list stored in a database 16. If the information appears in the criminal list, the operation goes to step S6. If not, the operation goes to step S7.

[0023] In step S6, the check-processing unit 17 calls a guard while keeping a gate 6 closed.

[0024] In step S7, the check-processing unit 17 makes a voice notification to the passenger 5 to receive the passport 8 from the passport insertion unit 9, while displaying the same notification on the display unit 11.

Part C: FIG. 4



(Flowchart illustrating the operation of the gate device shown in FIG. 1)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-266187  
(P2001-266187A)

(43) 公開日 平成13年9月28日 (2001.9.28)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>  
G 0 7 B 15/00

識別記号

F I  
G 0 7 B 15/00

テーマコード\* (参考)  
A 3 E 0 2 7

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-79984(P2000-79984)

(22) 出願日 平成12年3月22日 (2000.3.22)

(71) 出願人 591089556

株式会社 沖情報システムズ  
群馬県高崎市双葉町3番1号

(71) 出願人 000000295

沖電気工業株式会社  
東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72) 発明者 瀬戸 太一

群馬県高崎市双葉町3番1号 株式会社沖  
情報システムズ内

(74) 代理人 100089093

弁理士 大西 健治

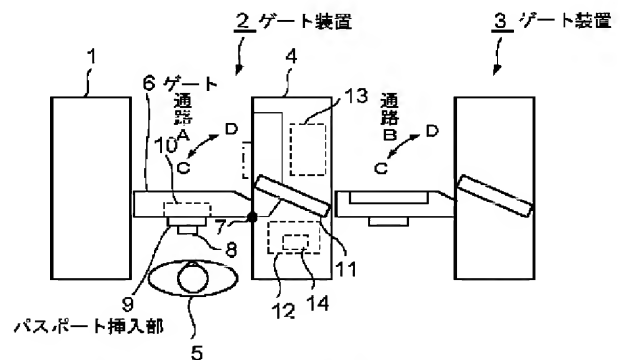
Fターム(参考) 3E027 CA06 CA07 CB01

(54) 【発明の名称】 ゲート装置

(57) 【要約】

【課題】 利用客が通路を間違うことなく通過できるゲート装置を提供する。

【解決手段】 利用客が通過する通路Aのゲート6にマシンリーダブルパスポート8の挿入部9を設ける。



実施の形態によるゲート装置の配置を示す模式図

【特許請求の範囲】

【請求項1】 挿入された券を読み取り、ゲートを開閉するゲート装置において、券の挿入部を通路のゲートに設けたことを特徴とするゲート装置。

【請求項2】 前記ゲートは、券を挿入部から抜き取りと開く請求項1記載のゲート装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は挿入された券を読み取り、ゲートを開閉するゲート装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、空港、港等には、出入国審査の一部を機械的に処理するゲート装置が設置されてある。このゲート装置は、利用客（以後搭乗客と記載する）がマシンリーダブルパスポート（以後パスポートと記載する）を装置本体に設けられたパスポート挿入部に挿入すると、装置が必要な情報を読み取り、問題なければ、搭乗客がパスポート挿入部から排出されるパスポートを受け取るとゲートを開閉する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のゲート装置にあっては、パスポート挿入部が装置本体に設けられてあるので、搭乗客はパスポートが装置本体に挿入された時点で、通路のゲートが開閉すると勘違いし、パスポート挿入部から排出されるパスポートを受け取らずにゲートに向かってしまうという問題点があった。

【0004】また、ゲート装置が複数隣接した場合、通路がゲート装置を挟んで配置されるので、ゲート装置をはじめて通過する人にとってどちらの通路にむかったらよいか判断に迷うという問題点もあった。

【0005】また、どちらの通路にむかったらよいか判断に迷った状態の搭乗客がゲート装置にパスポートを挿入するタイミングによっては、隣の搭乗客が通過するゲートを通過してしまう恐れがあるという問題点もあった。

【0006】本発明は利用客が通路を間違えることなく通過できるゲート装置を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明のゲート装置においては、券の挿入部を通路のゲートに設ける。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。尚、各図面に共通な要素には同一符号を付す。

【0009】図1は実施の形態によるゲート装置の配置を示す模式図である。通路Aを挟んでダミー1、ゲート装置2が配置してあり、通路Bを挟んでゲート装置2、ゲート装置3が配置してある。ダミー1は中身の無い筐

体である。ゲート装置2、ゲート装置3は同一構造であるので、ゲート装置2を例にとって説明する。

【0010】ゲート装置2は本体装置4と利用客5（以後搭乗客5と記載する）が通る通路Aを開閉するゲート6とからなり、ゲート6は本体装置4に設けた支軸7を中心に矢印C-D方向に回動自在である。

【0011】ゲート6の前面には、搭乗客5がパスポート8を挿入するパスポート挿入部9が設けてあり、パスポート挿入部9の内部には見開き状態で挿入されたパスポート8を読み取る光学式文字読取部10が設けてある。

【0012】本体装置4には、搭乗客5に案内を表示する表示部11と、ゲート6の機構部12と、装置全体を制御する制御部13とが設けてある。

【0013】機構部12はゲート開閉モータ14と図示せぬ歯車列とからなり、支軸7に固着した歯車をゲート開閉モータ14により正逆回転させて支軸7に固着したゲート6を回動させる。

【0014】通路Aの上部には搭乗客5がゲート6に接近したことを検出する後述する近接センサが設けてある。

【0015】図2は図1に示したゲート装置の制御ブロック図である。制御部14には確認処理部17が設けてあり、光学式文字読取部10、表示部11、ゲート開閉モータ14、近接センサ15、データベース16が接続してある。

【0016】確認処理部17は制御プログラムにより動作する中央処理装置（以後CPUと記載する）からなる。

【0017】図3はパスポートの概略図であり、写真の下に本人を示すコードが記載してあり、このコードが光学式文字読取部10より読み取られる。

【0018】次に動作について図4を参照して説明する。図4は図1に示したゲート装置の動作を説明するフローチャートである。ステップS1で確認処理部17は、近接センサ15を通じて搭乗客5が装置に接近したか否かをセンスしており、搭乗客5が装置に接近したことを検知するとステップS2に分岐する。

【0019】ステップS2で確認処理部17は、搭乗客5にパスポート8をパスポート挿入部9に挿入することを音声で通知すると共に表示部11に表示する。

【0020】ステップS3で確認処理部17は、パスポート挿入部9のセンサにより、パスポート8が挿入されたか否かをセンスしており、パスポート8が挿入されたことを検知するとステップS4に分岐する。

【0021】ステップS4で確認処理部17は、光学式文字読取部10を通じてパスポート8の所定のエリアに書き込まれているコードを読み取る。

【0022】ステップS5で確認処理部17は、データベース16に格納してある犯罪者リストに載っているか否かをチェックし、犯罪者リストに載っている場合はス

テップS 6に分岐し、否の場合にはステップS 7に分岐する。

【0023】ステップS6で確認処理部17は、ゲート6を開かないとともに警備員に通知する。

【0024】ステップS7で確認処理部17は、搭乗客5にパスポート8をパスポート挿入部9から受け取ることを音声で通知すると共に表示部11に表示する。

【0025】ステップS8で確認処理部17は、パスポート挿入部9のセンサにより、搭乗客5がパスポート8を受け取ったか否かをセンサしており、パスポート8がパスポート挿入部9から無くなったことを検知するとステップS9に分岐する。

【0026】ステップS9で確認処理部17は、ゲート6を開き、搭乗客5が通路Aを通過したことをセンサでセンサするとゲート6を閉じる。

【００２７】本実施の形態では、空港、港等に設置され、出入国審査の一部を機械的に処理するゲート装置を説明したが、本発明は、劇場や競技場等のようにゲートが複数設置され、利用客が挿入した券を読み取ってゲートを開閉する場合にも適用できる。

【0028】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように構成されているので以下に記載される効果を奏する。

【0029】券の挿入部をゲートに設けたことにより、利用客はゲートを間違えることなく通過できる。

【0030】ゲートは、券を挿入部から抜き取ると開くようにしたことにより、利用客は券挿入部から排出される券を確実に受け取ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】実施の形態によるゲート装置の構成を示す模式図である。

【図2】図1に示したゲート装置の制御ブロック図である。

【図3】パスポートの概略図である。

【図4】図1に示したゲート装置の制御ブロック図である。

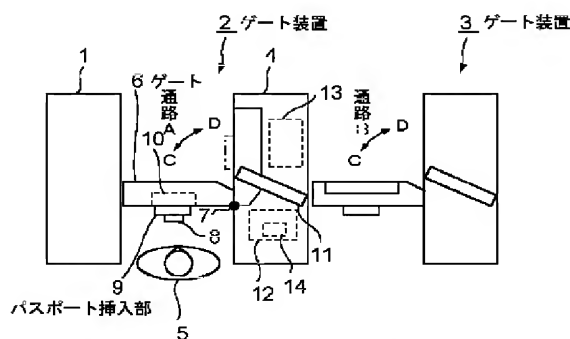
【符号の説明】

## 2、3 ゲート装置

## 6 ゲート

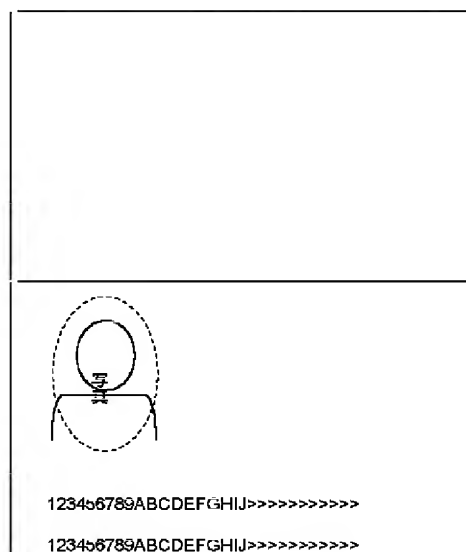
## 9 パスポート挿入部

【图1】



実施の形態によるゾート装置の配置を示す模式図

【図3】



パスポートの概略図

【図2】

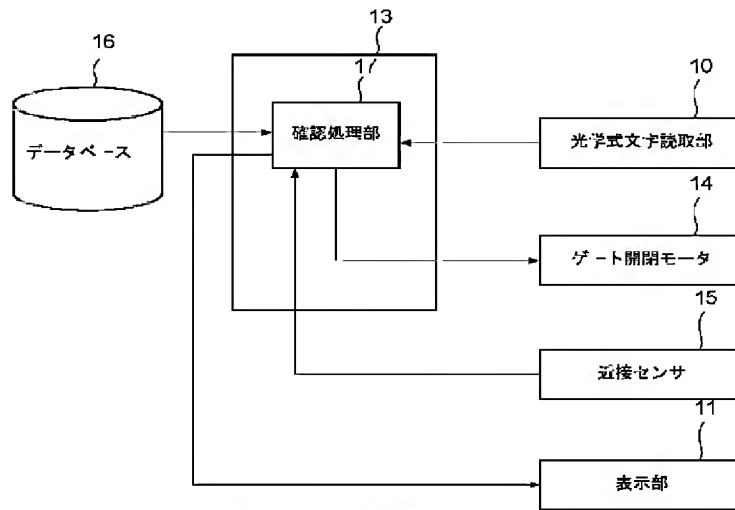


図1に示したゲート装置の制御ブロック図

【図4】

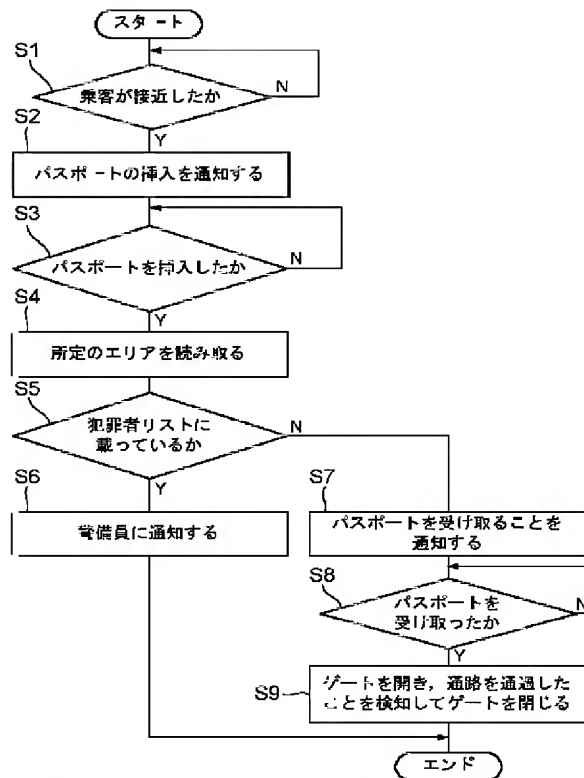


図1に示したゲート装置の動作を説明するフローチャート